

第 17 回日本在宅医学会もりおか大会 一般・指定演題

(研究報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	終末期の楽しみ・生きがい・やりたい事を支えるために ～私達ができること～
演者名	菊池 幸代 伊藤 久美子 藤原 聖子 佐々木 祐里枝
所属	くくる花巻訪問看護ステーション

研究方法 (右から番号を選び NO. 欄に番号をご記入ください)	1. 症例報告      2. 症例シリーズ報告      3. コホート研究 4. 症例対照研究    5. 調査研究      6. 介入研究      7. 二次研究 8. 質的研究      9. その他研究	NO.
		5

はじめに:当所は、お一人お一人に合わせた個別の関わりを大切にしている。しかし、逝く前にコンサートを開きたい、人工呼吸器を付けている方がお花見に行きたいなどの援助が出来た方もいましたが、最期まで思いを引き出せず曖昧に終わっているケースも多いと感じている。ある時、死を受け入れて、残された時間の過ごし方が明確であるはずと思った方から「私みたいな人達はどんな事をして過ごしているんですか。」と質問を受けて回答に困ることもあった。そこで逝去された利用者の方々の想いや過ごし方を知りたいと考えた。

目的:

I、癌の終末期の人生の楽しみ・生きがい・やりたい事を御家族と振り返り、私達に出来る事を明確にする。

方法:H25年1月15日(開所)～H26年9月5日までに当所を利用し癌で他界された利用者の御遺族(一人暮らしや利用日数の少ない方は除く。)40名にアンケート調査を行なう。

結果:40名中回答数26名返却率65%\*ご本人の在宅療養中の楽しみは…家族と一緒に過ごす時間(73%)・住み慣れた家で過ごす(54%)・自分の好きな事をする(23%)他。\*ご本人の生きがいは…子供や孫の成長(62%)・最後まで癌と戦う(35%)・趣味(31%)他。\*やりたかった事…最後まで住み慣れた環境で過ごす(58%)・趣味(50%)・旅行や温泉、買い物などの外出(38%)他。\*訪問看護師に望んでいた事…症状コントロールをして欲しい(62%)・予後を予測し残りの時間を教えて欲しい(23%)他。

考察:終末期を過ごす上で住み慣れた家で過ごしたい、家族と過ごす時間を大切にしたいという思いを叶えるために、一番訪問看護に望まれる事は、症状コントロールであると考え。そして、一人一人の楽しみ・生きがい・やりたい事を支えて行く事で人生の充実感に繋がり、本人・御家族の達成感や満足感を導く手助けになると感じている。